

こんにちは

日本共産党

横浜市議団です

日本共産党
横浜市議員団

2007. 11. 28号

横浜市中区港町1-1(市庁舎内)

電話 671-3032 FAX 641-7100

E-mail: info@jcp-yokohama.com

http://www.jcp-yokohama.com/

中田市長は事実を明らかにせよ

—日本共産党横浜市議団は公開質問状を提出—

市内の看護学校で公務時間中に中国語講座を受けたのは公務かプライベートか、サンディエゴ行きをドタキャンして遊興か・・・11月に入り、中田市長に関する記事が新聞・週刊誌などで相次いで報道されています。日本共産党横浜市議団にも、真実はどうなのかなどの問い合わせが多数寄せられています。

そこで、日本共産党横浜市議団は26日、中田宏市長の中国語受講やサンディエゴ出張中止をめぐって、公開質問状を市長に提出しました。

質問状では、「市長の言動はつねに360万市民が注目するところ」だとして、「看護専門学校での私的な中国語受講への行政機関の関与の有無、訪米日程の変更理由などは、まさに市政に関わるものであり、議会としても市長のことで傍観することは、議会の存在意義が問われることにもなる」ため、「事実関係の確認を行い、市民からの疑問を解き明かしたい」とした上で、中国語講座受講とサンディエゴ訪問延期の件の真相解明に向けて、10問の具体的な質問を行いました(右)。

党市議団は市長との懇談の中で質問状を市長に手渡し、市長は受け取りながら「やましいことはない。回答する」と答えました。

中田市長は、「週間現代」の記事に対し、「無責任な記事で市長としての名誉を著しくおとしめる」として、発行元の講談社を名誉毀損で東京地裁に提訴しています。

全文は市議団サイトをご覧ください。

「横浜市議団」で検索を!



中田市長(右)と懇談する(左から)白井、中島、大貫、河治、関市議員=11. 26. 横浜市長室

市長の行動に関する公開質問(質問内容)

- 市長の看護専門学校での中国語受講について、「公務でない」とされていますが、本市職員の関与については全貌を明らかにすることが行政の信頼保持のために求められています。
 - ①受講の発議者は、新聞報道では、行政側とされているが、いつ、誰が、どこで市長にその計画を伝え、市長の了解を得たか。
 - ②市長のスケジュール調整は、いつ、どこで、誰が誰と行ったか。(国際政策室と秘書室)
 - ③市長の受講申し込みは誰がいつどうやって行ったか。
 - ④受講の送迎に公用車使用の有無は。
 - ⑤受講料の請求書はどこに送られてきたか。その宛先は。支払い方法と支払いは。
- サンディエゴ市で行われる姉妹都市提携50周年記念式典などに参加するための米国出張は、10月25日の渡米予定日の前日の24日に、同市近郊の山火事を理由に、急きょ同市訪問中止を決定。ここに至るまでの経過と中止の影響等についてお聞きします。
 - ①サンディエゴ市当局とは、いつ、誰が相手方の誰と連絡をつけ、そのやりとりはどうであったのか。(中止はどちらかの提案か)
 - ②日本領事館とはどういうやり取りがあったのか。
 - ③随行員も含めキャンセル料はいくらになったか。
 - ④市長が出席を予定していた諸行事への影響はどうなったか。(予定通り挙行、中止、規模縮小など)
 - ⑤市民交流団への中止連絡は行ったか。